



流しそうめんを楽しむ子どもたち

羽根井校区は豊橋駅西口から、そのまま進めば校区内という交通の便利などところがあり、3700戸余りの世帯、人口は9300人を超す商業住宅地域です。学校週5日制が施行された平成14年に、余暇の増えた子どもたちに健全な居場所を提供しようと「土曜ひろば」を開設しました。羽根井小学校をお借りして、健全育成会を母体とした有志が集まって子どもの生活に明るさと豊かさを与えようと考え出された活動です。

今年で7年目、登録児童は1年生から6年生まで255人で、毎回参加する子どもは200人程です。活動内容は日本舞踊、おもしろ科学、編み物、草笛、クッキング、抹茶を楽しむ、和太鼓など普段できない種目も含め18種目あり、ボランティアの講師が65人と大勢なことで、顔ぶれが多様なことも自慢の一つです。年間17回実施し、午前9時〜11時は種目別、その後11

時30分まではゲームや自分たちの成果の発表などを行う全体会です。時には流しそうめん、豚汁づくり、もちつきなどをして楽しみます。楽しく遊ぶことと同時に、規律ある行動、礼儀ある態度の育成にも心がけています。子どもたちが変わっていく姿に学校、家庭、地域から大きな期待が寄せられています。

情報提供 羽根井校区自治会

中野校区

自分たちの街は自分たちで守る

中野校区は昭和60年に発足し、現在7町により構成されている比較的新しい校区です。

この地域は大型スーパー、娯楽施設がそろい、特に校区の目抜き通りである南陽通りの両脇には、飲食店や衣料品店などがズラリと並び、都心をコンパクトにしたような住みやすい地域です。反面、豊橋で最もにぎわう街であ

るがゆえに、犯罪の発生が心配されます。そこで中野校区では、「自分たちの街は自分たちで守る」をモットーに、校区青少年健全育成会を主体にさまざまな犯罪抑止活動を展開しているところです。日々の老人会による立ち番と見回りをはじめ、毎年の継続活動として、7月には「社会を明るくする運動」、時にはミニ集会を開催してい

ます。一方、夏には、児童のため「夏休み校区内巡視」を実施し、秋には「校区内街頭パレード活動」を展開しています。また、毎年年末には地元の大形店や商店発展会をはじめ、関係機関の方々に集まっていたり、犯罪や非行の現状と対策についての懇談会を実施しています。これらの活動を継続的に行っていることに意義があると考えております。校区民のご理解、ご協力のためものと感謝しております。

情報提供 中野校区自治会

あのまち

このまち

各校区からいただいた情報を掲載しています

子どもとのふれあいを大切に

羽根井校区



校区内街頭パレード活動のようす

市民病院コーナー

「予防に勝る治療なし」がモットーの予防医療センター



予防医療センターは、市民病院移転時は健診センターの呼称で呼ばれていた施設です。拡大する健康診断業務には手狭な更衣室の拡張が行われ、平成16年4月に、広く予防医療の業務一般をなう目的で予防医療センターに呼称の変更が行われました。

予防医療センターでは「予防に勝る治療なし」をモットーに病気の早期発見を行っております。また、市民向けの健康教室は6月で44回を迎えました。最新の正しい病気の知識を市民のみなさんに身につけていただくように第一線で活躍中の方々に講演をしていただいておりますので、ご自由にお申し込みください。

問合先 予防医療センター ☎

33・6271

(予防医療センター) 部長 鈴木道生



豊橋からスリランカへ

現地に合った環境教育を育てたい

平和：日本では当たり前だったし、考えたこともなかった。スリランカは現在、紛争状態にある。普段の生活でそれを身近に感じることはない。しかし、町の各所で行われているセキリティチェックには、銃を携帯した軍人の姿もある。彼らも普段は厳しい顔をしているが、私が現地語を話す日本人だとわかるとけっこう友好的に話しかけてくることもある。そんなスリランカで私が行っているのは、環境教育クラブの促進の援助である。スリランカは、北海道の8割ほどの面積に世界遺産を7つ有し、自然環境も非常に恵まれている。この環境を維持するための取り組みはとても盛んである。無断で庭の木を切ることもできないくらい厳しい法も整備されている。しかし、一方でゴミをポイ捨てしたり、自分の家の前のゴミを隣の家の前に捨てたりと、環境に対する意識の低さもある。この意識を向上するひとつの手立てとして環境教育クラブの活動が行われている。まず子どもに環境を愛する心を作り、大人、つまりは社会へ影響を与えていくことをめざしている。豊橋のゴミ分別を紹介したところ、まずは2、3分別くらいからだね、という反応だった。また530運動の心意気には、その責任感が重要だと同意を示す人も多くいた。私の活動は始まったばかりである。スリランカ独自の環境教育に豊橋の取り組みを取り入れつつ、現地にマッチする環境教育を行っていききたい。



青年海外協力隊
河辺陽子さん(中央)

派遣先 スリランカの古都キャンディ
滞在期間 平成20年1月～
平成22年1月
活動内容 中央州3県を管轄する各事務所で環境教育の促進

JICAとは

独立行政法人国際協力機構のことで、開発途上国の人材開発や技術提供などを行っています。また、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアの派遣なども行っています。

市民のひろば

情報提供

吉野 智昭さん(☎52・6424)



— お便りいただきました —

まちのこえ

マジックの楽しさを多くの人に伝えたい

マジックを本格的に始めたのは、戦後のすさんだ時代に少しでも明るい笑いをふりまこうと、町内の子どもを慰問したのがきっかけです。現在は、「誰にでもできる楽しいレクリエーション、マジック」をモットーに、豊橋マジッククラブ会長として会員にマジックの技術を伝授するとともに、老人クラブや福祉施設の慰問など、年間50回以上の公演を行っています。

マジックは老若男女を問わず、見る人を明るくします。みんなに笑ってもらうことが何よりの喜びです。今後も命ある限り、50有余年習得してきた数々のマジックや最新の目新しいメニューも織り交せて、巡回マジックショーの公演を行っていきたくも思っております。老人クラブや子ども会などの催しとして、マジックを取り入れてみてはいかがですか。

また、マジックを見るのは好きでも実際に行う人はまだまだ少ないと思います。豊橋マジッククラブではマジックを習得したい方を募集しています。興味がある方は気軽にご連絡ください。

●このコーナーに、あなたのご意見・情報をお寄せください●

見どころ、イベント、ちょっといい話など身近な話題をお寄せください。※住所・氏名・電話番号を明記してください
広報広聴課(〒440-8501住所不要 ☎56・5711 ㊚ kohokocho@city.toyohashi.lg.jp)

豊橋市内の5月の交通事故(人身)

[] は昨年同月、() は今年の合計

- 件数 314件 [312件] (1,400件)
- 死者 0人 [1人] (10人)
- 傷者 381人 [363人] (1,724人)

豊橋市の人口と世帯

(平成20年6月1日現在)

- 人口 385,134人(前月比299人増)
[男193,012人/女192,122人]
 - 世帯 148,331世帯(前月比257世帯増)
- ※このうち外国人は20,484人/11,860世帯

今月の納税

固定資産税 第2期分
納期限 7月31日(木)

早めにお近くの金融機関(ゆうちょ銀行は口座振替のみ)またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のかからない口座振替の制度が便利です。

問合せ先：納税課(☎51・2234)